

Press Release



2024年2月16日
トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、CDP「気候変動レポート 2023」でBスコアを獲得 「サステナビリティ基本方針」に基づいた気候変動対応の取り組みが評価

トランスコスモス株式会社(代表取締役共同社長: 牟田正明、神谷健志)は、CDPが公表した「気候変動レポート 2023」において、マネジメントレベルとされる「B」スコアに認定されました。今回認定されたBスコアは8段階中上から3つ目にあたり、「自社の環境リスクや影響について把握し、行動している」と評価されたことを示すものです。



トランスコスモスは2023年3月にTCFD提言に基づいた開示を行い、2024年1月にSBTへのコミットメントレターを提出するなど、CO2排出量削減に向けた取り組みやTCFD提言に沿った情報開示を進めてきました。今後もトランスコスモスは、事業を通じてステークホルダーのみなさまと共創しながら、サステナブルな社会の実現によりいっそう貢献し、お客様企業にとってのWell-beingパートナーとなるべく成長していきます。

<CDP(Carbon Disclosure Project)について>

CDPは、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体です。2000年の設立以来、CDPは資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境への影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取り組みを先導しています。世界中の企業や自治体から収集した環境に関する情報開示を集計・分析し、その取り組みを8段階(A、A-、B、B-、C、C-、D、D-)で評価しています。

<トランスコスモスのサステナビリティへの取り組み>

トランスコスモスは、2021年に代表取締役会長を委員長とするトランスコスモスSDGs委員会を設置し、ESG(環境、社会、ガバナンス)を中心とした社会の課題や期待に対する取り組みを推進していく体制を構築しています。また、トランスコスモスでは持続可能な社会の実現と、社会全体のWell-beingの最大化を目的とした、サステナビリティ基本方針を策定しています。

サステナビリティ基本方針では、ロードマップに従ってSDGsを推進し、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言への賛同と開示のほか、Scope1,2,3算定、開示など、気候変動の課題解決に取り組んでいることが選定に至ったと考えます。

わたしたちトランスコスモスは社会課題の解決に取り組むことで、企業としてのソーシャルインパクトを拡大し、社会全体のWell-beingを最大化していくことをパーパスとし、みなさまのSXパートナーとなるべく活動をしています。

<https://www.trans-cosmos.co.jp/company/sustainability/sdgs.html>

CDP グローバルサイト:<https://www.cdp.net/ja>

トランスコスモス 気候変動への取り組み:

<https://www.trans-cosmos.co.jp/company/sustainability/environment/climateChange.html>

トランスコスモス SDGs 委員会 note オープン社内報:https://note.com/tci_sdgs/

※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です

※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界 27 の国と地域・166 の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 46 の国と地域の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <https://www.trans-cosmos.co.jp>)